



2020年4月入職

ふくだじゅんいち
福田 順一

スキルアップを目指す上で、外せないチャンス!

患者さまの不安は、他人事ではない

私は幼い頃から風邪や骨折でよく病院にかかっていました。骨折してしまったときの検査でX線撮影をしてもらったことが、放射線技師という仕事を知ったきっかけです。その検査の時のことがとても印象に残っていて、高校生の頃から「病院で働きたい」という気持ちが強くなりました。通院していた時の私がそうであったように、検査に来られる患者さまには大抵不安がつきまっています。自分の経験を活かし、少しでも患者さまの診療のお役に立ちたいと思い、この仕事を選びました。

心のこもった案内や説明はもちろん、患者さまの不安を少しでも和らげられるように、笑顔で接することを私は常に大事にしています。透視後の胸部撮影の際にも「ご体調はいかがですか?」「ご気分は悪くないですか?」とお声がけするようにしていて、実際に気分が悪い患者さまがいらしたときには、椅子に座っていただき撮影したこともあります。検査終了後、その患者さまから「とても安心して検査を受けられました」とかけていただいた言葉は、今でも心に残っています。

知識と技術に加えて、思いやりという付加価値を



患者さまの安心感を高めるためには、知識と技術の向上が不可欠だと思っています。思いやりエキスパートの候補として選ばれたときは正直なところ、コミュニケーションを取るのが苦手な自分には向いていないのではと思いました。しかし、以前在籍していた病院から善仁会グループに転職した理由は、放射線技師としてのスキルアップを目指すため。これまで知識と技術に関わる研修には多数参加してきましたが、「思いやり」に関する研修は今まで経験したことがありません。

さらなるスキルアップを目指す自分にとってこれ以上のチャンスはないと思い、研修を受けることに決めました。

その研修を終えた今、早くも意識の変化が生まれています。以前は自己紹介や検査説明が不十分なときがあり、患者さまから「これは何の検査ですか?」と聞かれてしまうこともありましたが改善され、変化が出てきました。今後は研修で得た知識を活かして、検査の説明を笑顔で分かりやすく丁寧に言い、患者さまがより安心して検査を受けられる場を提供できるよう努めてまいります。



切磋琢磨 石差切

知識や技術を学び、患者さまに
笑顔で優しく接します。

福田 順一